

第 95 回 地区内中小企業景気動向調査結果

(平成 24 年 7～9 月期実績・平成 24 年 10～12 月期見通し)

1. 調 査 時 点 平成 24 年 9 月 3 日～9 月 14 日

2. 調査対象企業数 174 社中回答 174 社 回答率 100.0%

区 分	調査対象企業の範囲	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率 (%)
製 造 業	従業員 300 人以下	39	39	100.0
建 設 業	〃	43	43	100.0
卸 売 業	従業員 100 人以下	7	7	100.0
小 売 業	従業員 50 人以下	54	54	100.0
サ ー ビ ス 業	〃	31	31	100.0
合 計		174	174	100.0

3. 調 査 方 法

当金庫調査員の面接聞き取りによる感触調査です。

調査対象企業は、当金庫の営業区域（新冠町～広尾町）内に所在する企業とし、その抽出は、各業種・規模等の基本属性の構成が、調査対象母集団の属性に見合う一定基準に基づいて有意抽出で行っています。

4. 分 析 方 法

各質問項目で「増加（上昇）」したと回答した企業の全体に占める構成比と、「減少（下降）」したと回答した企業の全体に占める構成比との差（判断指数・D I 値）を中心にして分析を行っています。

なお、同時に信金中央金庫 地域・中小企業研究所が行う、全国調査結果と地区内との比較分析を行っています。

5. お問い合わせ先

日高信用金庫 業務部地域貢献課 (Tel. 0146-22-4114、内線 621)

〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 番地 2

全業種総合 174 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 概 況

今期（平成24年7～9月期）の業況判断D Iは△40.2と、前期（平成24年4～6月期）△44.7比4.5ポイント上昇した。製造業、建設業、サービス業で改善の傾向がみられるが、小売業、卸売業は前期比悪化している。

売上額D I △22.4 は、前期比 1.7 ポイント改善、収益D I △13.7 は、同比 11.0 ポイント悪化している。業種別にみると、製造業、建設業では売上額、収益ともに改善している。卸売業では売上、収益は、ほぼ横ばいの値となっている。小売業は売上、収益とも悪化となっている。サービス業では、売上は横ばい、収益は、若干の改善となっている。

来期（平成24年10～12月期）の予想業況判断D Iは△34.6と、今期実績比5.6ポイントの上昇見通しとなっている。業種別にみると、製造業△2.5（今期△30.8）、建設業△37.2（同△23.4）、卸売業△57.2（同△57.2）、小売業△42.6（同△53.6）、サービス業△51.6（同△48.4）と来期を見通している。

【業種別天気図】

業種	時期	地 区 内				北 海 道	全 国
	24年 1～3月	24年 4～6月	24年 7～9月	24年 10～12月見通	当 期	当 期	
総 合							
製 造 業							
建 設 業							
卸 売 業							
小 売 業							
サービス業							

好調 ←

→ 低調

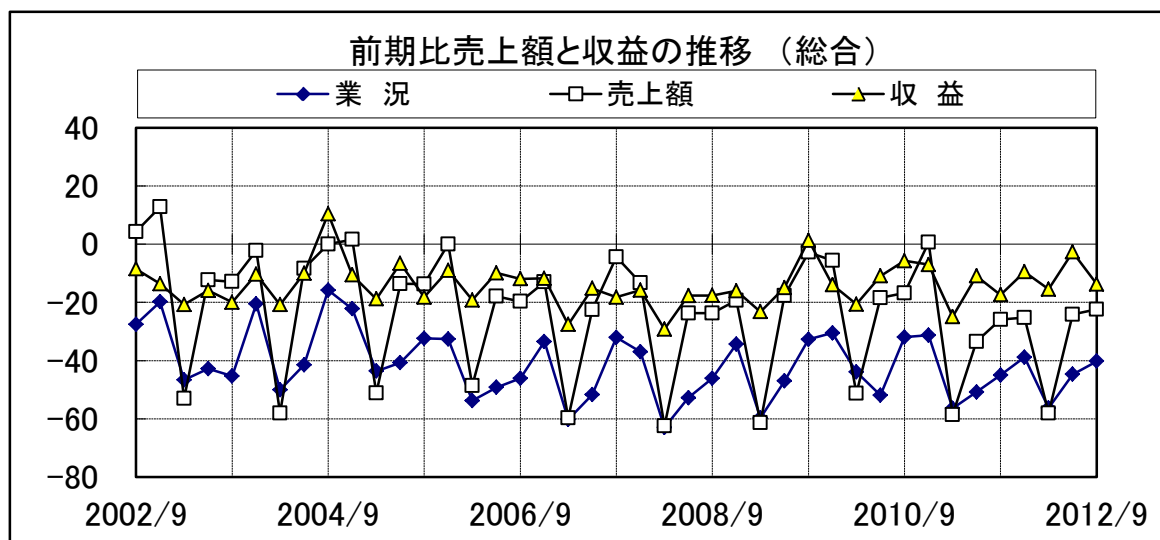
この天気図は、景気指標を総合判断して作成したものです。

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業 況	-56.3	-44.7	-40.2	-34.6
売上額	-58.0	-24.1	-22.4	-14.4
収 益	-15.5	-2.7	-13.7	-20.7

全業種総合の今期の業況判断DIは△40.2と、前期比4.5ポイント上昇した。2四半期連続の改善。地区別に見ると、えりも地区で下降、三石地区で横ばい。静内、浦河、様似、広尾地区は上昇している。

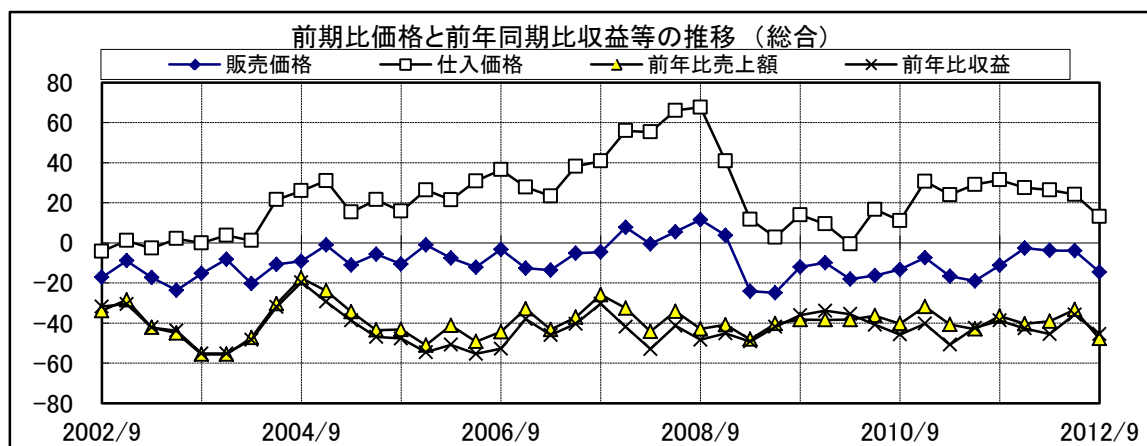
売上額判断DI△22.4は前期比1.7ポイント上昇した。収益判断DI△13.7は同比11.0ポイント下降した。



□ 価格面、前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
販売価格	-3.8	-3.9	-14.6	-9.8
仕入価格	26.4	24.1	13.2	13.2

販売価格判断DIは△14.6と、前期比10.7ポイント下降した。仕入価格判断DIは13.2と、前期比10.9ポイント下降、価格上昇基調を弱めている。業種別にみると、販売価格は調査業種の全てで下降した。仕入価格は、サービス業のみ上昇し、他業種は下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	-18.4	-17.3	-12.6	-1.1
人手状況	5.2	0.0	-3.4	-15.0

残業時間判断DIは△12.6と、前期比4.7ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断DIは、前期のゼロ水準から△3.4となり、人手「不足」超となった。

□ 設備投資の動き

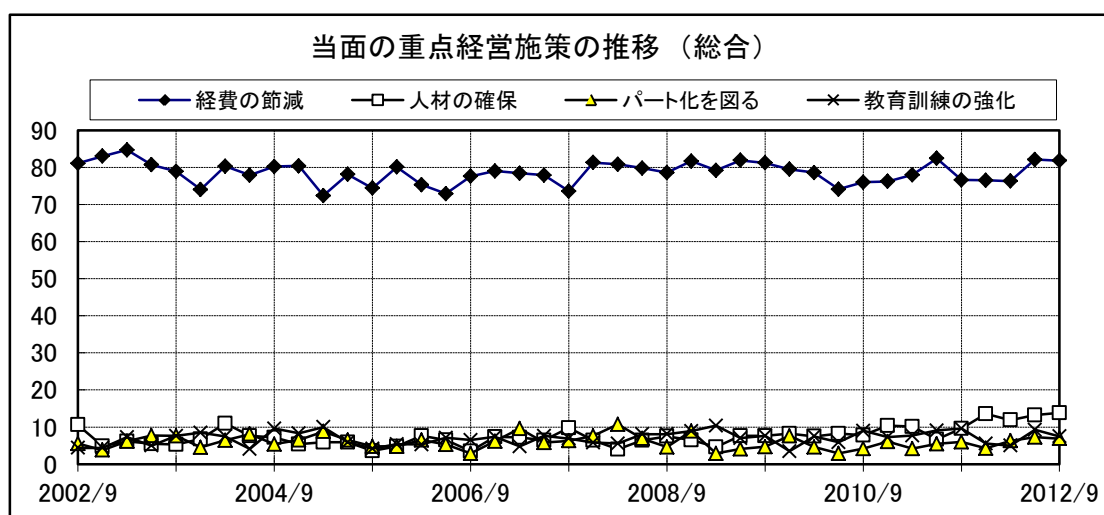
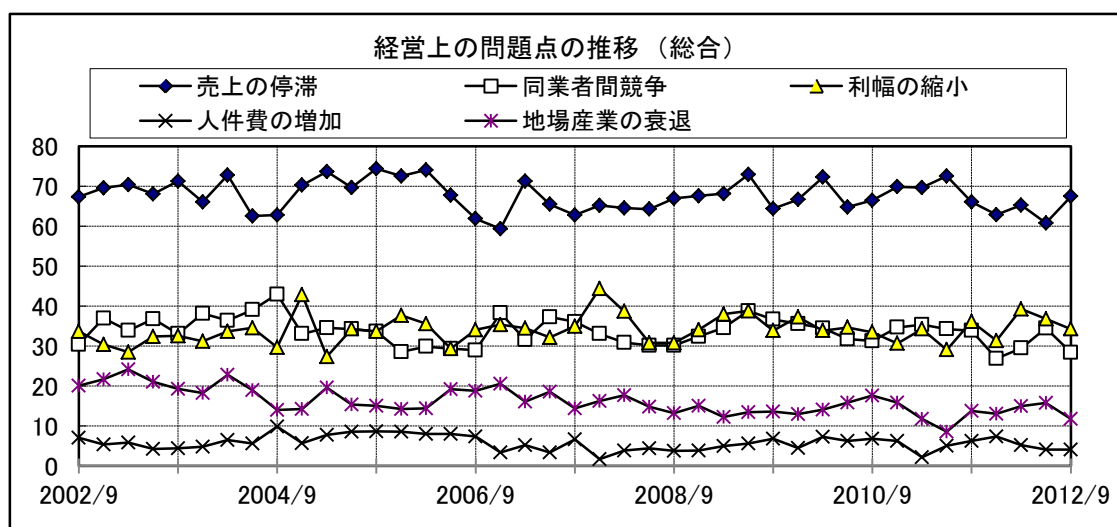
設備投資の充足感を示すD Iは△12.0 と、前期△10.9 から1.1 ポイント下降、不足感を強めている。

設備投資実施企業割合は17.2%と、前期21.3%から4.1 ポイント下降、前期の37 社に対し30 社の実施となった。来期の設備投資は、20 社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」が67.5%で最も多く、次いで「利幅の縮小」34.3%、「同業者間との競合」28.4%、「地場産業の衰退」11.8%と続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」が81.8%で突出している。次いで「人材の確保」13.8%、「教育訓練強化」7.5%、「パート化を図る」6.9%、「不動産の有効活用」3.8%の順となっている。また、「特になし」とするものが8.6%あった。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△34.6 と、今期△40.2 と比べ5.6 ポイント上昇の見通しとなっている。

予想売上額判断D Iは△14.4 と、今期△22.4 と比べ8.0 ポイント上昇の見通しとなっている。予想収益判断D Iは△20.7 と、今期△13.7 から7.0 ポイントの下降を見通している。予想販売価格判断D I △9.8は、今期△14.6 から4.8 ポイント上昇、価格低下基調が弱まる見通しとなっている。一方、予想仕入価格判断D Iは13.2 と、今期と横ばいの見通しとなっている。

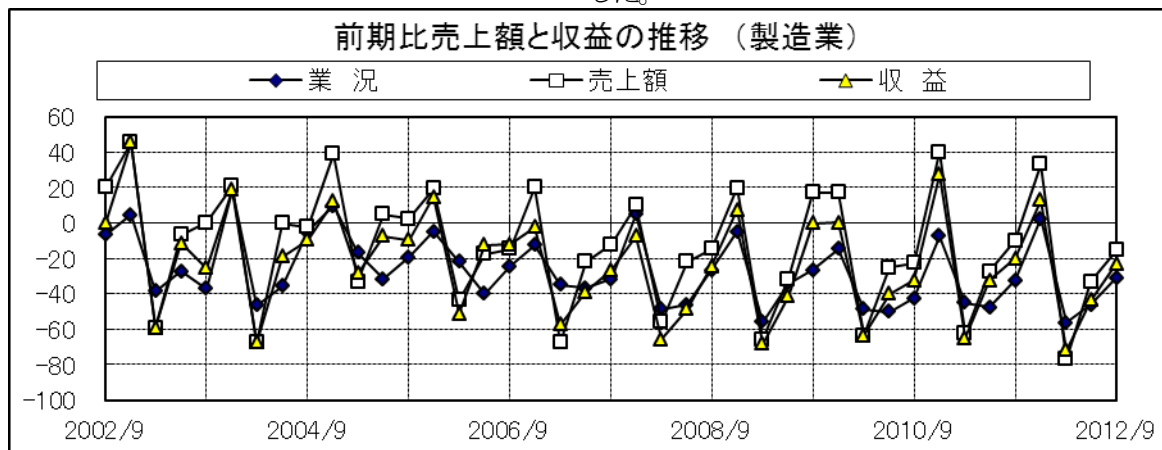
製 造 業 39 企 業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業 況	-56.5	-46.2	-30.8	-2.5
売上額	-76.9	-33.3	-15.3	20.5
収 益	-71.8	-43.6	-23.1	17.9

今期の業況判断DIは△30.8と、前期比15.4ポイント上昇した。2期連続の改善基調にある。静内、三石、様似、広尾地区で上昇したが、浦河、えりも地区で下降している。

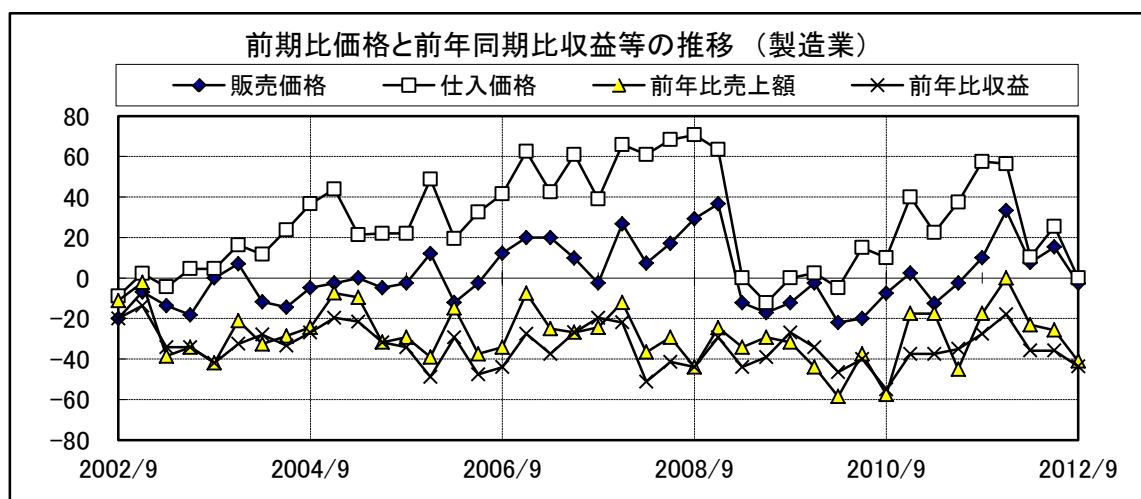
売上額判断DIは△15.3と、前期比18.0ポイント、収益判断DI△23.1は同比20.5ポイント、ともに上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
販売価格	7.7	15.3	-2.6	-12.9
仕入価格	10.3	25.5	0.0	0.0

販売価格判断DIは△2.6と、前期比17.9ポイントの下降、価格低下基調に転じた。仕入価格判断DIは前期比25.5ポイントの下降となり、ゼロ水準となった。業種別にみると、食品が販売価格、仕入価格ともに下降し、木材の販売価格は下降、仕入価格は横ばいとなった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	-25.6	-20.4	-5.1	17.9
人手状況	10.2	2.6	-10.2	-28.2

残業時間判断DIは△5.1と、前期比15.3ポイント上昇。残業時間が減少したとする企業割合が減少した。人手過不足判断DIは△10.2と、前期比12.8ポイントの下降で、人手「不足」超に転じた。

□ 設備投資の動き

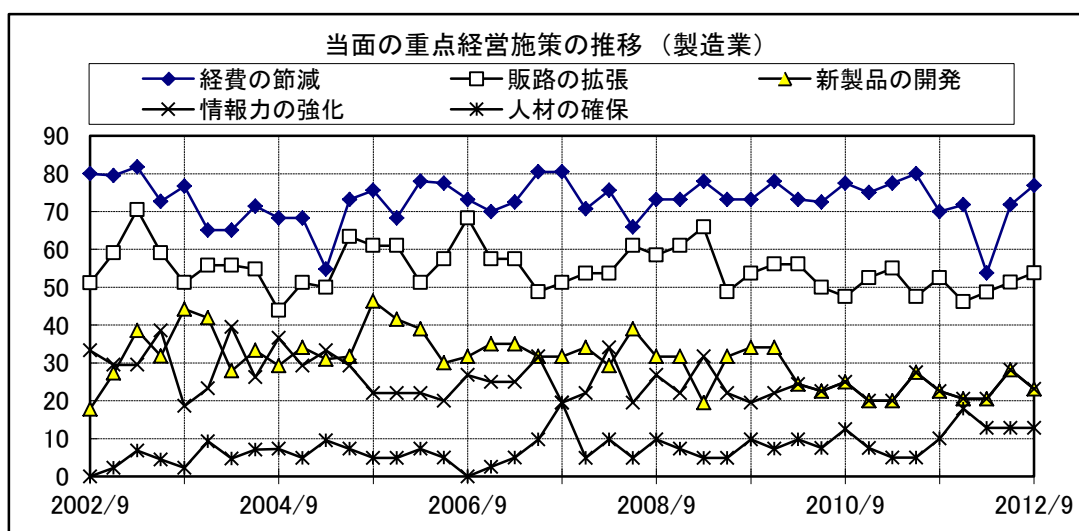
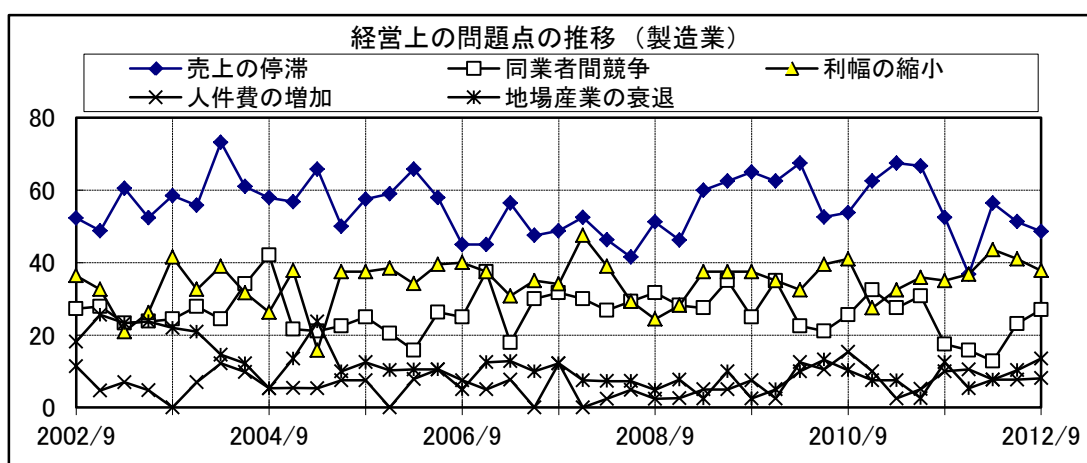
設備投資の充足感を示すD Iは△15.4 と、前期横ばいの値となった。

設備投資実施企業割合は17.9%と、前期30.8%から12.9ポイント下降し、前期の12社に対し7社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ48.6%、次いで「利幅の縮小」37.8%、「原材料高」29.7%、「同業者との競合」が27.0%と続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ76.9%、次いで「販路の拡張」53.8%、「新製品を開発する」、「情報力を強化する」がともに23.1%、「人材を確保する」、「提携先を見つける」とともに12.8%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△2.5 と、今期△30.8 と比べ28.3ポイントの上昇見通しとなっている。予想売上額判断D I 20.5 も、今期と比べ、35.8ポイントの上昇を見通している。また、予想収益D Iは17.9 と、今期△23.1 と比べ、41.0ポイントの大幅な上昇見通しとなっている。予想販売価格判断D Iは△12.9 と、今期△2.6 と比べ10.3ポイント下降し、価格低下基調が強まる見通しとなっている。予想仕入価格判断D I 0.0 は、前期と横ばいの見通しとなっている。